



青空に羽ばたく Bristow グループの 経営管理システム

Bristow グループは、世界最大級のヘリコプター輸送サービス会社であり、世界各国の海洋石油・天然ガス開発事業に輸送サービスを提供しています。同グループは、経営情報管理システムを再構築し、世界の各拠点のシステムを統一しました。これによって、将来にわたっても世界規模のビジネスを管理できる IT 基盤を整備しました。

Bristow の統合 IT 基盤の中核をなすのは、IFS Applications を基にした、IFS UK と共に開発した新世代の ERP システムです。現在、Bristow は IFS Applications を利用して、会計、サプライチェーン管理、機体のメンテナンス・リペア・オーバーホール(MRO)などの情報を一元管理しています。

Bristow では、新しいシステムを導入した結果、在庫管理の改善によって機体稼働率を向上するなど、すでにいくつかの効果を上げています。運転資本を効率化することで、輸送業務の改善に数百万ポンドを投入することができ、その結果、競争の激しい海洋資源開発事業向けヘリコプター・サービス市場に対応するための競争力を強化できたというのがその一例です。

導入

Bristow における IFS Applications の導入プロジェクトは、2001 年から 4 年間にわたって実施されました。このプロジェクトは 3 段階に分けられ、まず始めに会計モジュールが導入されました。この導入は非常に順調に行われ、開始してから 12 カ月で完了しました。Bristow が IFS Applications を選定した決定的な要因は、IFS 社が軍事航空産業で実績があったことと、継続的に民間航空産業向けソリューションの強化を図っていることでした。Bristow は、IFS UK の民間航空産業向けソリューション・チームの主導の下、自社に導入するシステムを開発しました。ここでは、Bristow の海洋石油・天然ガス産業向けヘリコプター輸送サービスに関連する特殊な要件を満たすために、多くの変更が必要でした。これらの変更の多くは、その後、IFS Applications の標準機能として搭載されることになりました。Bristow 向けに開発された特殊な機能には、在庫の評価や、指定の飛行時間が経過したために取り外して修理しなければならない循環部品の管理などがありました。

次に、Bristow は IFS のサプライチェーン・ソリューションを導入しました。このソリューションは、2002 年に米国の拠点で運用開始され、翌 2003 年には英国での運用が始まりました。その後、Bristow は次々と世界各地の拠点にサプライチェーン・ソリューションを導入していき、現在 37 拠点で運用しています。

Bristow は、サプライチェーンの導入フェーズが完了した後、ヨーロッパの拠点に航空機体のメンテナンス・ソリューションを導入し、2005 年から運用を開始しました。これらのモジュールは、現在、英国(アバディーン、ノリッジ)とオランダ(デンヘルデル)にある Bristow の基地と、ノルウェーの関連会社である Norsk Helikopters 社の基地で稼働されています。このほかに、ナイジェリア、オーストラリア、米国の基地でもメンテナンス・モジュールを運用しています。さらに、現在のほかの地域への導入が進められています。

BRISTOW グループについて

Bristow グループは、ヘリコプター輸送サービスの大手プロバイダーであり、世界各国の石油・天然ガス産業に輸送サービスを提供しています。Bristow の輸送サービスは、子会社、関連会社、JV を通じて、米国領メキシコ湾とアラスカ、北海、アフリカ、メキシコ、南米、オーストラリア、ロシア、エジプト、極東地域など、世界の石油・天然ガス産出地域の大部分に提供されています。また、Bristow は、米国領メキシコ湾の石油・天然ガス産出施設に生産管理サービスを提供するリーディング・カンパニーでもあります。



Bristow の情報管理部門のバイスプレジデントである Mike Meyer 氏は、次のように述べました。「Bristow では、IFS Applications の導入に加えて、当社のビジネスプロセスの合理化を目的とした大掛かりなプログラムを開始しました。これは、今回導入された新しいシステムが提供する最先端の機能を最大限に活用して、プロセスを自動化するだけでなく、情報に容易にアクセスできるようにするための取り組みです」

Meyer 氏は、さらに続けました。「今では、世界各地のユーザーが必要なときに欲しい情報にすぐにアクセスできるようになりました。これは、新システムの素晴らしい効果のひとつです。また、全拠点で、一連の同じ情報をリアルタイムに利用できます。つまり、現時点での最も正確な最新情報だけを参照し、適切な意思決定を行うことができるというわけです。たとえば、AOG(Aircraft on Ground: 航空機体が、不具合、交換部品待ち、整備待ちなどの理由から出発できない状態にあること)に効率的に取り組み、かつてないほどに素早く対応できるようになりました」

システム統合

Bristow は、自社で独自開発したフライトオペレーションシステム「INTOPS」と IFS Applications を統合しました。「INTOPS」には、ヘリコプター毎のフライト時間が記録されます。そして、これらのフライトの詳細情報と、IFS Applications に登録されたヘリコプターの構造とを関連付けることで、Bristow のエンジニアリング部門は、前もって機体ごとの適切なメンテナンス計画を立てることができます。これは機体の稼働率を最大限に維持するために不可欠なことです。なぜなら、主要部品の大部分は、6 カ月もしくはそれ以上のリードタイムを要する場合があるからです。IFS Applications と「INTOPS」を連携することで、必要なときに必要な場所で適正な交換部品を調達できます。

また、同じシステム統合基盤を利用して、メンテナンス・マニュアルをオンラインで閲覧することができます。Bristow では、今ではこれらのマニュアルを中央で管理することで、容易に更新でき、世界各地の拠点にすぐに提供することが可能です。さらに、主要な部品や装備品を機体から取り外した際に、これらの部品の廃棄の可否をこれまで以上に早く見極めて、適切な措置を講じることができます。

効果

Bristow では、生産性と収益性の改善によって得られる財務面での効果を考慮した場合、2007 年度末までに IFS Applications の導入への投資を回収できると予想しています。Meyer 氏は、次のように述べました。「当社の重要な業績指標の 1 つに航空機体の稼働率がありますが、これを改善することができました。これは、保守と補給のプロセスを、IFS Applications の導入以前よりも組織的かつ計画的に行えるようになったからだと考えられます」

「IT 基盤を整備したおかげで、当社の世界規模の経営を管理する上で、拠点が離れた場所に分散しているといった地理的な問題はもはや大きな障害ではなくなりました。当社では、IFS Applications を利用することで、補給リードタイムを 50%短縮できました。また、当社のサービスの需要が急増したためにフライト時間が増加したにもかかわらず、在庫レベルをおおむね低く抑えています。そして、プロセスをさらに自動化したことで、業務に要する諸経費を削減しました。管理部門のスタッフの業務を減らし、これらのスタッフをより生産的な業務に割り当てられるようにもなりました」

Meyer 氏は、最後に次のように述べました。「我々は、IFS の新システムに満足しています。また、Bristow グループの今後を考えた場合、IFS のシステムは当社の将来のビジネス活動をも支援できるものと期待しています。それは、当社では、IFS のシステムは当社のニーズが時間とともに変化しても、これに対応できる IT 基盤であると考えているからです」

効果

- ・ 生産性の向上
- ・ 収益性の向上
- ・ 設備保全管理と再供給の強化
- ・ 航空機のアベイラビリティの向上
- ・ 在庫レベルの低減
- ・ 経費処理の減少

ソフトウェア

IFS Maintenance™
 IFS Financials™
 IFS Distribution™
 IFS Project Management™
 IFS Vehicle Information Management™
 IFS Human Resources™
 IFS Quality Management™



“システムの導入以前と比べて、設備保全管理および再供給プロセスの構成と計画が改善されたため、運用上の最も重要な指標の 1 つである航空機のアベイラビリティが向上しました”

Bristow
 情報管理部門のバイス・プレジデント
 Mike Meyer 氏